

10/1~14 村のあちこちで芸術の秋 第14回 南阿蘇村谷人たちの美術館



さながら美術館の「作品目録」のような展示と紹介

村全体を美術館に見立てた「南阿蘇村2018谷人たちの美術館」(同実行委員会主催)が2週間にわたって開催され、村内外から多くの人を訪れました。

美術館は、作家の自宅やギャラリー、アトリエなど村内30カ所以上を会場として開放。陶芸、木工、ガラスや布などを用いた工芸品、絵画や写真などの作品展示や、体験講座も行われました。

今年は、村観光協会内にも集合展示ボックスが設置され、訪れた観光客の目を惹きつけていました。

10/4 おいしそうなおいもたくさんとれたよ 子育て支援センター「わくわくひろば」芋ほり



子どもたちは泥だらけになりながら収穫を頑張りました

子育て支援センター「わくわくひろば」(長陽保健センター)で芋ほりが行われました。

参加した7組の親子は、サツマイモが植えられたセンターの中庭の畑に集合。職員が茂った葉を取り除くと、子どもたちは一生懸命につるを引っぱり、土を掘って、サツマイモの収穫を楽しみました。

穫れたサツマイモはそれぞれがお土産として持ち帰ったほか、後日実施した保護者の料理教室で調理されました。

9/15 みんなで一緒に頑張りました 村内3保育所運動会



音楽に合わせた元気いっぱいのダンス「ようこそ 日本へ」

9月15日~29日にかけて、村内3保育所(白水・久木野・ちょうよう)で運動会が開催されました。

9月15日に開催された久木野保育所の運動会では、オープニングとして、園児たちが長期間練習を重ねてきたマーチングの演奏を披露。

競技が始まると、それぞれがダンスや徒走、技巧走など、さまざまな種目に一生懸命取り組みました。

ばら組園児によるダンス「ようこそ 日本へ」では、扇子を使った動きと元気な掛け声がそろった演技に、会場全体から拍手が贈られていました。

10/3 地元農業の活性化を目指して 川後田地域活性化協議会「どじょう米」収穫



ドジョウは土の中で生きており、田に水を入れると再び出てくるそうです

地区の農家などによって構成され、昨年11月に発足した南阿蘇村川後田地域活性化協議会(岡 智則 会長)が、「どじょう米」の収穫を行いました。

同協議会は、新しい取り組みへの挑戦で地元農業を活気づけようと、今年5月から水田にドジョウを放流して無農薬で米を育てる「どじょう米」作りを始め、今回の収穫を迎えました。今年の米を試作として、来年以降さらなる取り組みに繋げていく予定です。